

浦和西高新聞

編集・発行
埼玉県立
浦和西高等学校
新聞部
さいたま市浦和区
木崎3-1-1
〒330-0042
TEL (048) 831-4847

~新聞部~
2-9李悦航
1-6増永知紘
2-5齋藤未歩翔
2-3稲森由香
部員募集中です

生徒総会



生徒会長としての
芦名さんからの最後の話

力を入れ、生徒一人一人が西高のことを考えて行動できるようにすることがあげられた。また、生徒総会が終わった後に芦名さんは、「今まで当たり前だと思っていたことに疑問を持てること、さらに、その疑問について多種多様な意見が交わされ、新しい気付きをもてることはとても楽しい。西高には考えて述べる自由が与えられているので、この貴重な環境を生かしてほしい。」と述べた。また、「過去の西高にあった事実を知り、充実した西高生活をおくるために今後どう行動したら良いか考える材料にしてほしい。」と述べた。

5月30日の6限目に、平成25年度後期の生徒総会が行われた。まず、重要議題として、生徒手帳の選挙細則 第3章 第5節第27条の最後の一文の「但し白票は無効とする。」の部分を削除する、という提案があげられた。これに対し、生徒は満場一致で同意した。後期生徒会本部活動報告では、昨年は1枚しか発行できなかったStand On!が今年度の5月で2枚発行できたことがあげられた。遅刻したらアカンDayは、3人に減ったがまだまだ0人とは遠いと述べた。総括で、前期で行えていなかった情報公開を中心に活動できたことは良かったが、全員に正確に深く伝わりきることができなかったことも多々あり、申し訳ないと語った。2014年度予算大綱案は、本年度の予算額が前年度を約20万下回った。新入生オリエンテーションの執行団は、新オリ自体はしっかりできたが、成功したかは今後の1年生の様子から分かるだろう、と語った。委員会の活動報告として、購買委員会はポスターによるポテト問題の呼びかけ等により、廊下に落ちていたポテトが減ったと述べた。予餞会実行委員会は、昨年度の2年生が3年生に送る最後の行事だったので、見ていた今の2年生が何か感じてくれたら嬉しいと語った。風紀委員への質問で、具体的にどういう仕事をしているのかという問いに対し、校内に周りに迷惑をかけている人がいないかチェックしていることと答えた。また、前期審査委員会は、意見カードを書きやすい環境づくりをすることを活動方針としてあげた。前期生徒会本部活動方針として、情報公開に

熱中症って何？

ここ数日暑い日が続いている。4日には体育祭があるということもあり、熱中症について保健室の先生にお話を伺ってきた。

熱中症はどのような時におこるか

- ・運動などで体内に熱がこもった時や、発汗によって体内の水分や塩分が不足した時におこる。
- ・熱中症が多くなる時期
梅雨明けや気温が急に上がる時など、暑さに慣れていない時に多くなる。
- ・熱中症のサイン
軽度の場合：筋肉がつる、吐き気、眩暈など。
重度の場合：意識がない、言動が普段と違う。
- ・熱中症の人を見かけた時の対応
涼しい所へ連れて行き、衣服を緩め、意識があれば水分補給をさせる。意識がない場合は救急車をよぶ。
- ・体育祭など1日外にいななければいけない時に気をつけること
こまめに水分補給をする、帽子をかぶる、体調が悪い時は無理をしない、日陰で時々休むなど。

体育祭の前日はなるべく早く寝て、全力を尽くせるようにしよう。

補欠選挙

5月30日の7限目を使って補欠選挙立会演説会が行われた。今回立候補したのは副議長に2年1組小杉司君、1年9組須澤聖樹君、審査に2年3組渡邊豊弘君の3名だった。

小杉君は「積極的に活動したい。西高生全員が西高を好きになれるように頑張りたい。」と、須澤君は「入学して間もないが、西高にいる全員と話し合い、意見を聞きたい。」と話した。渡邊君は「元々気になっていたもので、生徒会凍結の危機と聞いて立候補した。まだ目標などはないが、やることを最後までやり通すことができるので精一杯努力したい。」と話した。質疑応答では補欠選挙のせいなのか質問が出なかった。

前回の選挙で11名に満たなかったため行われた補欠選挙だが、今回でも満たなかった。6月15日までに集まらなければ生徒会凍結となってしまうので少しでも意欲があるのなら、是非立候補してほしい。

副議長に立候補した小杉君